

大分県金融経済懇談会 参考資料

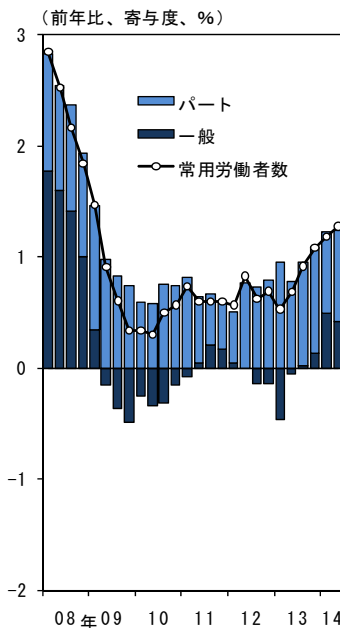
- (図表 1) 雇用者所得
- (図表 2) 消費者物価
- (図表 3) 実質GDP
- (図表 4) 「展望レポート」(2014/4月)
- (図表 5) 品目別の消費者物価
- (図表 6) 海外経済見通し
- (図表 7) 米国経済
- (図表 8) ユーロ圏経済
- (図表 9) 中国経済
- (図表 10) 主要国の物価上昇率
- (図表 11) 主要国の中長期的な予想物価上昇率
- (図表 12) 労働生産性
- (図表 13) 様々な消費者物価指数
- (図表 14) 長期金利の変動要因
- (図表 15) 大分県経済

(注) 図表は6月3日(日本時間正午)までに公表されたデータに基づき作成。

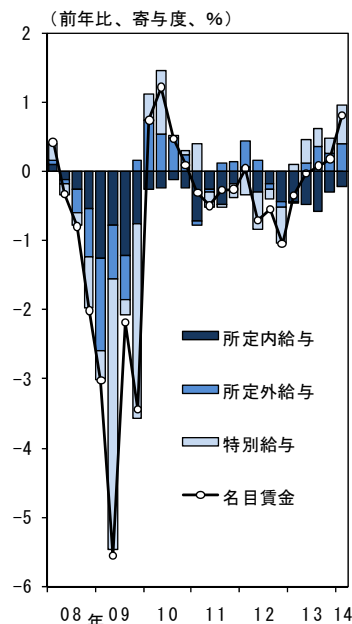
図表 1

雇用者所得

(1) 雇用者数



(2) 名目賃金



(3) 雇用者所得

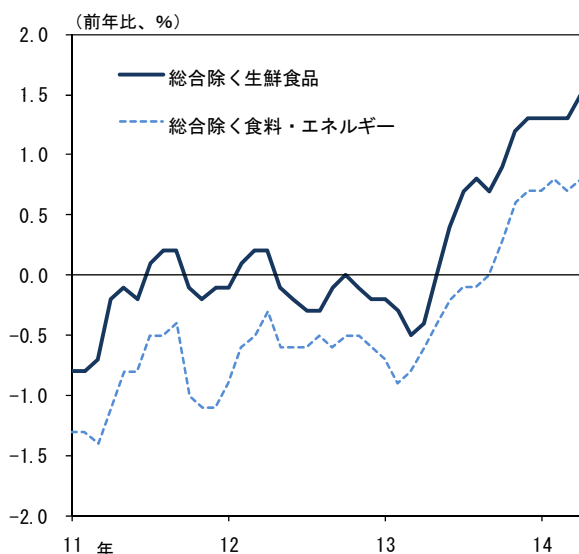
(前年比、%)

	13年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	14年 1-3月	4月
名目賃金 (W)	-0.6	0.3	-0.4	0.4	0.1	0.9
所定内 給与	-0.7	-0.4	-0.7	-0.7	-0.4	-0.2
所定外 給与	-1.9	0.6	3.0	5.5	5.0	5.1
特別給与	9.6	2.4	0.3	1.9	0.8	20.5
常用労働者 数(L)	0.5	0.7	0.9	1.1	1.2	1.3
雇用者所得 (W×L)	-0.0	0.9	0.5	1.5	1.3	2.2

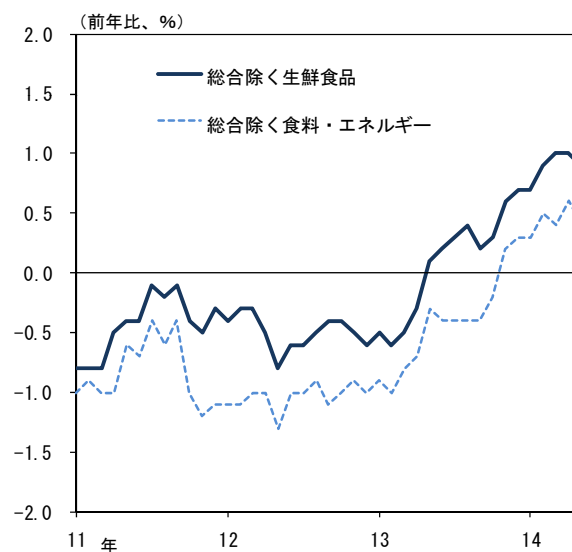
(注) (2) の四半期は次のように組み替えている。
 第1四半期：3～5月、第2：6～8月、第3：9～11月、第4：12～2月。
 (資料) 厚生労働省

消費者物価

(1) 全国



(2) 東京都区部



(注) 2014/4月以降は、消費税率引き上げの直接的な影響を調整した試算値。
 (資料) 総務省

実質GDP

● 実質GDPの推移

(季調済前期比年率、%)

		2013年				2014年
		1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期 1次速報
実質GDP成長率		4.9	3.5	1.3	0.3	5.9
寄与度	内需	(3.2)	(2.9)	(3.3)	(2.6)	(6.9)
	民需	(1.7)	(1.2)	(1.8)	(2.0)	(7.3)
	個人消費	(2.6)	(1.8)	(0.5)	(0.9)	(5.1)
	設備投資	(▲ 1.1)	(0.5)	(0.4)	(0.8)	(2.7)
	住宅投資	(0.2)	(0.1)	(0.4)	(0.5)	(0.4)
	在庫投資	(0.1)	(▲ 1.2)	(0.5)	(▲ 0.2)	(▲ 0.8)
	公需	(1.4)	(1.8)	(1.5)	(0.5)	(▲ 0.4)
	公共投資	(0.8)	(1.2)	(1.3)	(0.2)	(▲ 0.5)
	外需	(1.7)	(0.5)	(▲ 2.0)	(▲ 2.2)	(▲ 1.1)
	輸出	(2.4)	(1.7)	(▲ 0.4)	(0.3)	(3.9)
輸入	(▲ 0.7)	(▲ 1.2)	(▲ 1.6)	(▲ 2.5)	(▲ 5.0)	

(資料) 内閣府

「展望レポート」 (2014/4月)

- 2013~2016年度の政策委員の大勢見通し

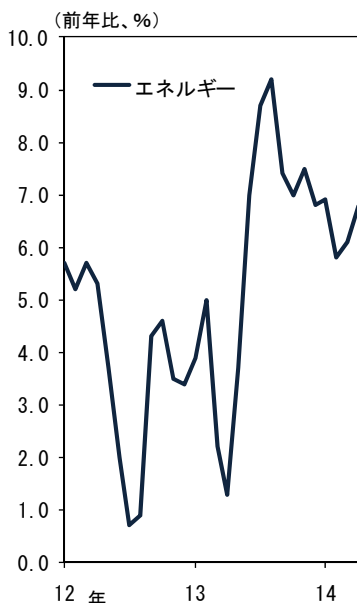
—対前年度比、%。なお、<>内は政策委員見通しの中央値。

	実質GDP	消費者物価指数 (除く生鮮食品)	消費税率引き上げの 影響を除くケース
2013年度	+2.2~+2.3 <+2.2>	+0.8	/
1月時点の見通し	+2.5~+2.9 <+2.7>	+0.7~+0.9 <+0.7>	
2014年度	+0.8~+1.3 <+1.1>	+3.0~+3.5 <+3.3>	+1.0~+1.5 <+1.3>
1月時点の見通し	+0.9~+1.5 <+1.4>	+2.9~+3.6 <+3.3>	+0.9~+1.6 <+1.3>
2015年度	+1.2~+1.5 <+1.5>	+1.9~+2.8 <+2.6>	+1.2~+2.1 <+1.9>
1月時点の見通し	+1.2~+1.8 <+1.5>	+1.7~+2.9 <+2.6>	+1.0~+2.2 <+1.9>
2016年度	+1.0~+1.5 <+1.3>	+2.0~+3.0 <+2.8>	+1.3~+2.3 <+2.1>

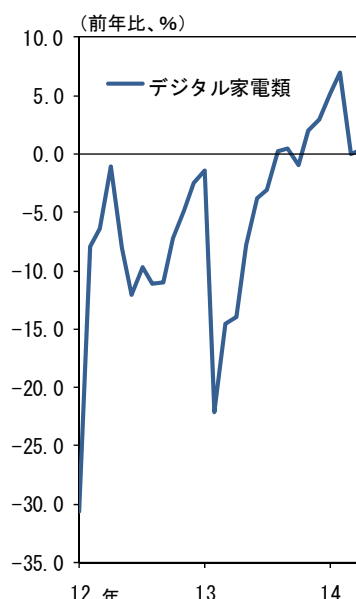
(資料) 日本銀行

品目別の消費者物価

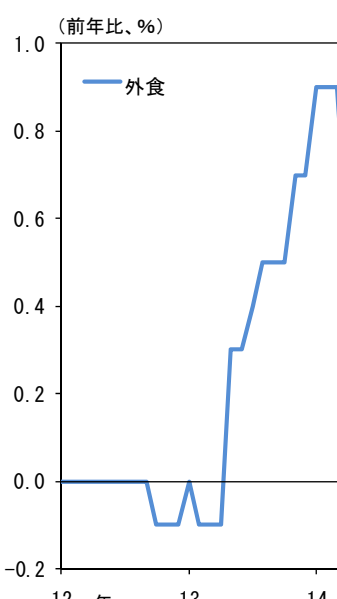
(1) エネルギー



(2) デジタル家電類



(3) 外食



(注1) 2014/4月以降は、消費税率引き上げの直接的な影響を調整した試算値。

(注2) 「デジタル家電類」の価格は、消費者物価のうち、テレビ、携帯型オーディオプレーヤー、電子辞書、ビデオレコーダー、パソコン(デスクトップ型)、パソコン(ノート型)、プリンタ、カメラおよびビデオカメラの価格。

(資料) 総務省

海外経済見通し

● IMFによる世界経済見通し（2014年4月時点）

（実質GDP成長率、前年比、%、%ポイント）

	2012年	2013年	2014年 （見通し）	2015年 （見通し）
世界	3.2	3.0	3.6 (-0.1)	3.9 (-0.1)
先進国	1.4	1.3	2.2 (0.0)	2.3 (0.0)
米国	2.8	1.9	2.8 (0.0)	3.0 (0.0)
ユーロエリア	-0.7	-0.5	1.2 (0.1)	1.5 (0.1)
日本	1.4	1.5	1.4 (-0.3)	1.0 (0.0)
新興国・途上国	5.0	4.7	4.9 (-0.2)	5.3 (-0.1)
アジア	6.7	6.5	6.7 (0.0)	6.8 (0.0)
中国	7.7	7.7	7.5 (0.0)	7.3 (0.0)
ASEAN	6.2	5.2	4.9 (-0.2)	5.4 (-0.2)
ラテンアメリカ	3.1	2.7	2.5 (-0.4)	3.0 (-0.3)

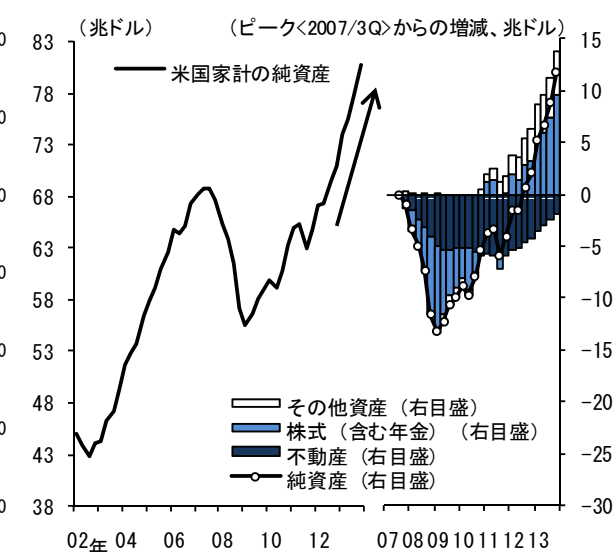
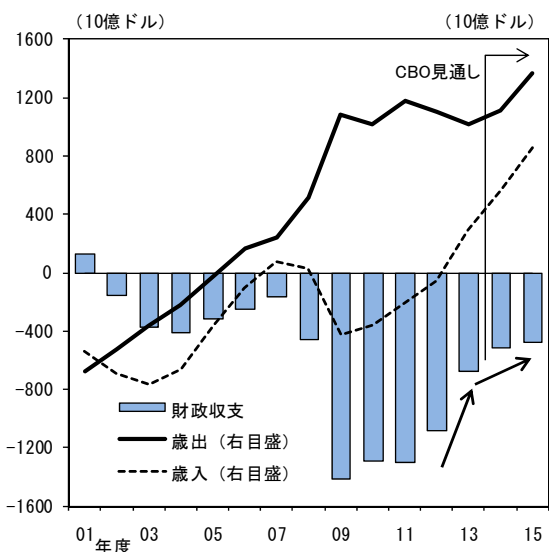
（注）（ ）内は2014年1月時点における見通しからの修正幅。
（資料）IMF

図表 7

米国経済

（1）財政収支

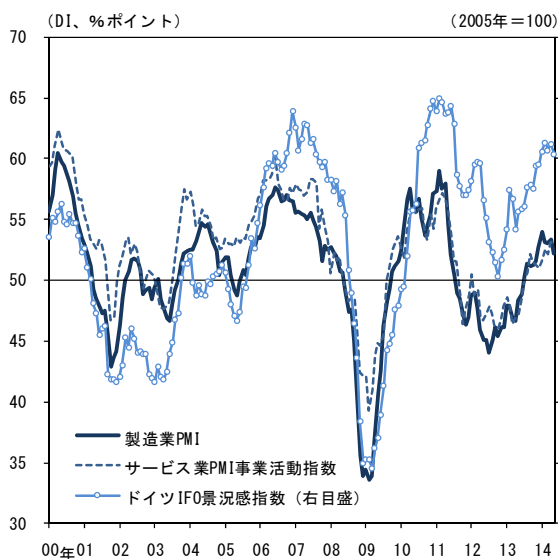
（2）家計のバランスシート



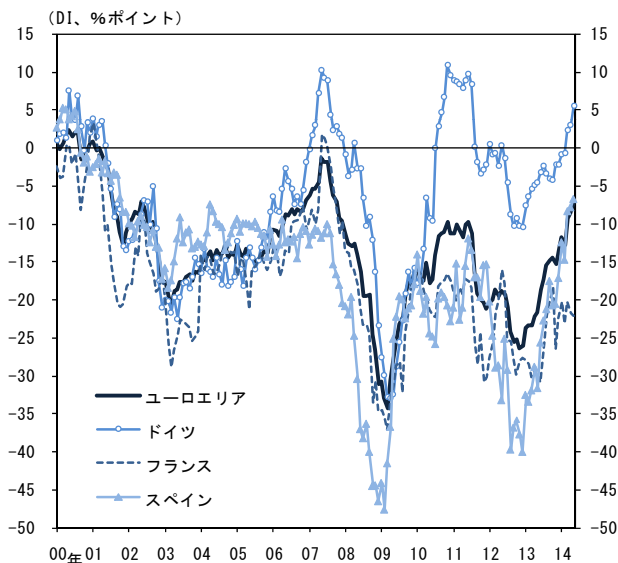
（注）（1）は、2014年4月時点見通し。会計年度ベース（前年10月～当年9月）。
（資料）CBO、Haver Analytics

ユーロ圏経済

(1) 企業コンフィデンス



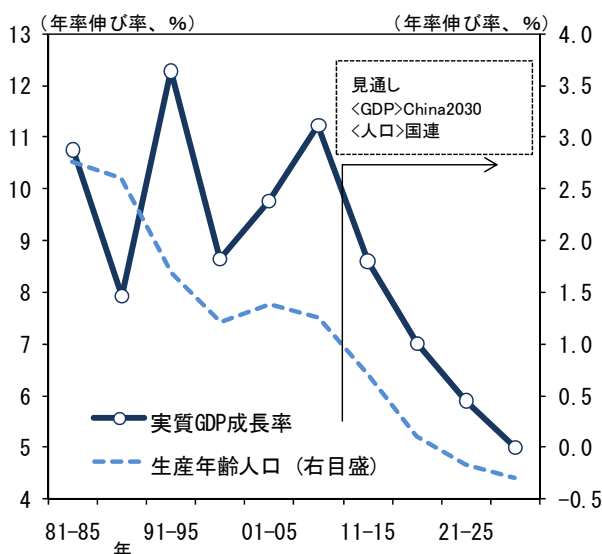
(2) 消費者コンフィデンス



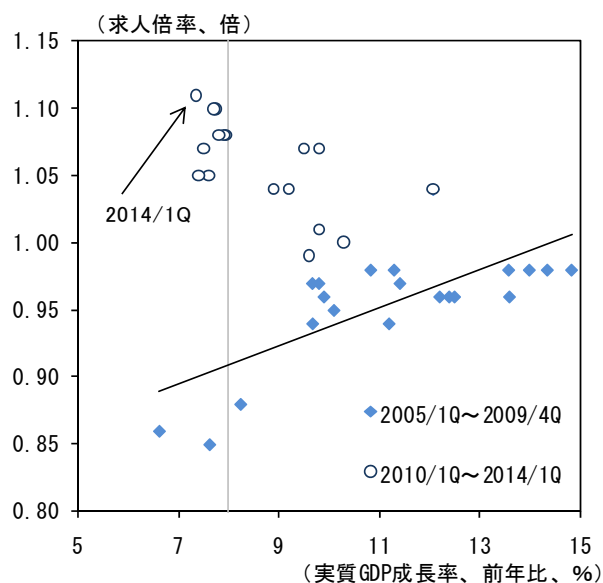
(資料) Markit (© and database right Markit Economics Ltd 2014. All rights reserved.); Thomson Reuters Datastream.

中国経済

(1) 「China2030」における成長見通し



(2) GDP減速と雇用の安定



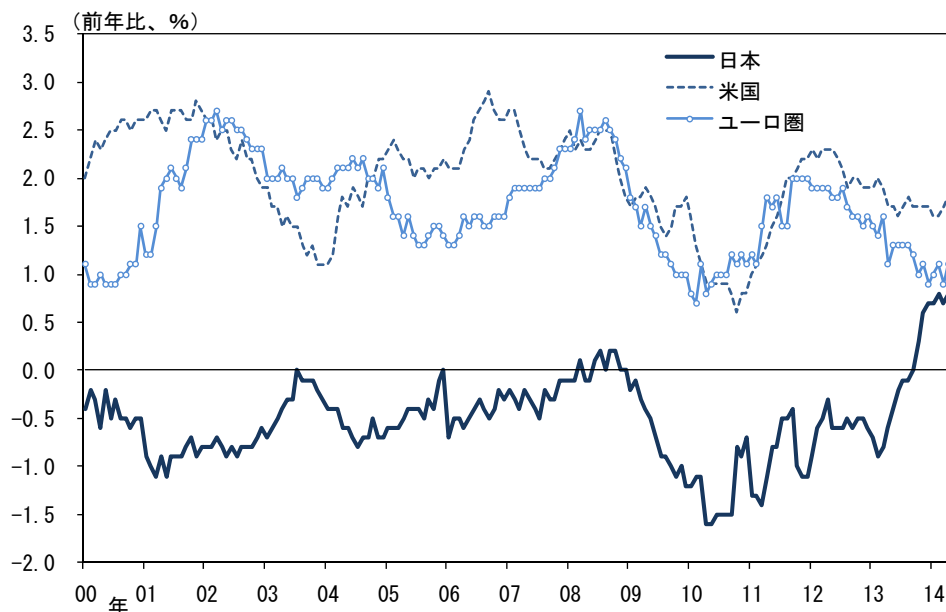
(注1) (1) の「China 2030」は、国務院発展研究センターと世界銀行による共同研究レポート(2012/2月に発刊)。

(注2) (2) の実線は、05/1Q~09/4Qの回帰直線。

(資料) 世銀・国務院発展研究センター、国連、CEIC

主要国の物価上昇率

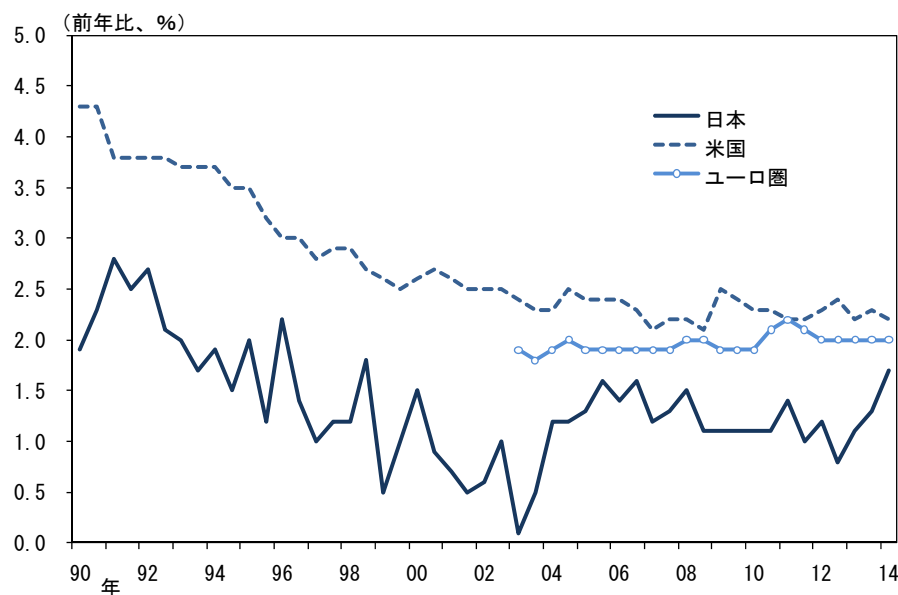
日米欧の消費者物価上昇率



(注1) 米国は「食料品、エネルギーを除く」ベース。ユーロ圏は「エネルギー、非加工食品を除く」ベース。日本は「食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く」ベース。
 (注2) 日本の2014/4月以降は、消費税率引き上げの直接的な影響を調整した試算値。
 (資料) 総務省、Eurostat、Bloomberg

主要国の中長期的な予想物価上昇率

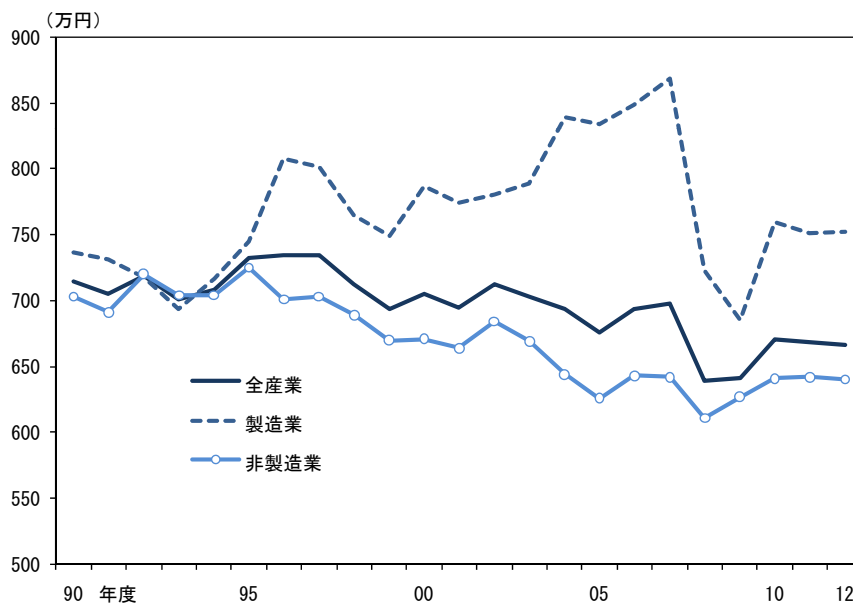
6～10年後のCPIの見通し <コンセンサス・フォーキャスト>



(注) 調査時点は毎年4月と10月。
 (資料) Consensus Economics Inc.

労働生産性

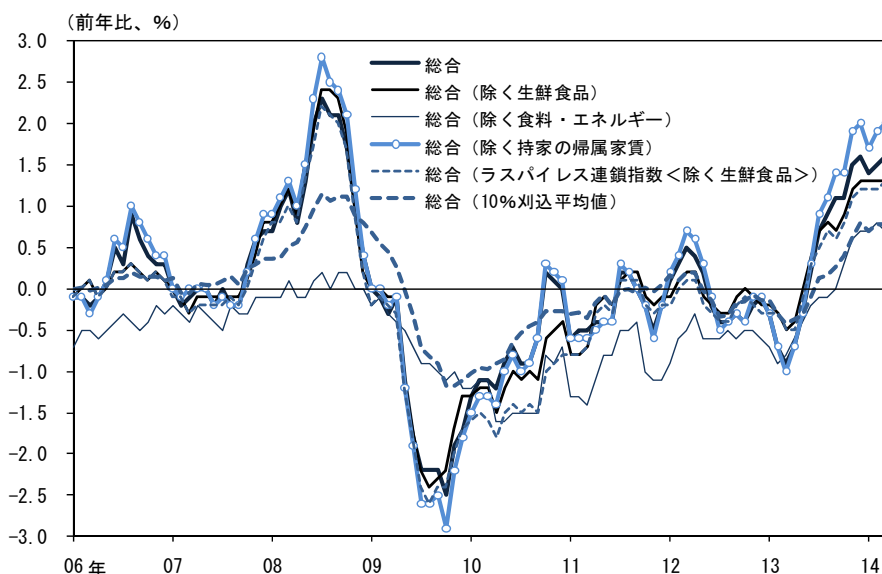
製造業および非製造業の労働生産性



(注1) 労働生産性は、従業員一人当たりの付加価値額。
 (注2) 全産業および非製造業は、金融業、保険業を除く。
 (資料) 財務省

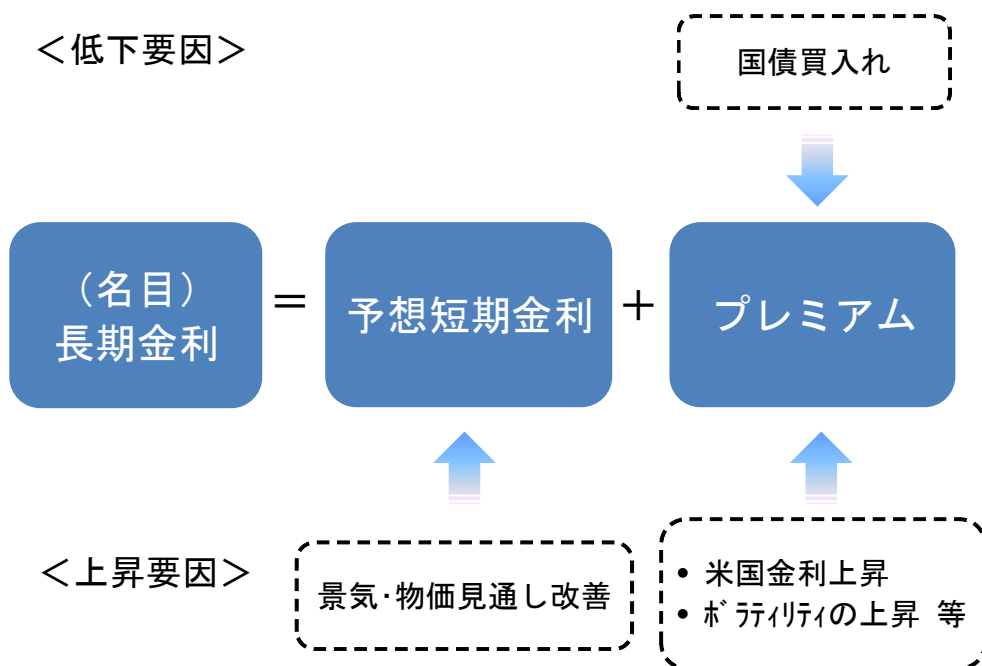
様々な消費者物価指数

消費者物価指数の推移



(注1) 2014/4月以降は、消費税率引き上げの直接的な影響を調整した試算値。
 (注2) 10%刈込平均値は、個別品目の前年同月比を値の小さな順に並び替え、値の大きい品目と小さい品目をウエイトベースでそれぞれ10%控除して、残った品目の前年同月比を加重平均して算出。
 (注3) 2006年のラスパイレス連鎖指数は、固定基準年指数の前年同月比。
 (資料) 総務省

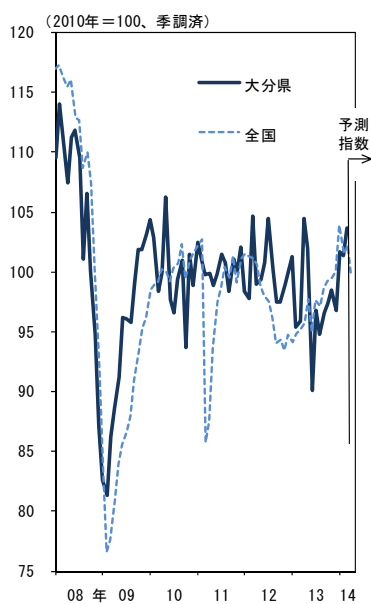
長期金利の変動要因



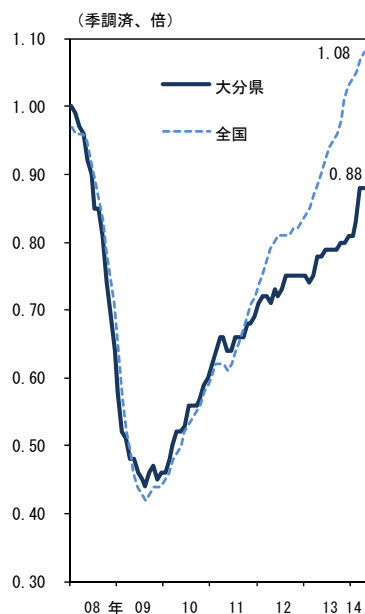
図表 1 5

大分県経済

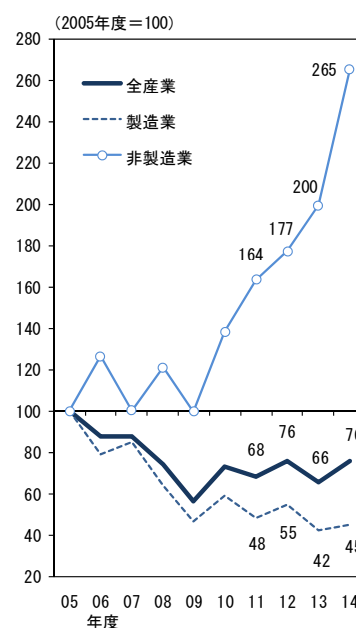
(1) 鉱工業生産



(2) 有効求人倍率



(3) 設備投資 (短観)



(注) (3) は、09年度以降、リース会計対応ベース (08年度以前はリース会計適用前ベース)。
 (資料) 大分県統計調査課、経済産業省、厚生労働省、大分労働局、日本銀行